



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行：横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年4回発行（1月4月7月11月）

新春親睦パーティー

2020.2.1 KKR ポートヒル横浜

2月1日横浜スペイン協会の新春親睦パーティーが開かれました。会は少し遅れて武菱、桜田両司会のもとで始まり、下山会長の AIYES 創立 30 周年記念行事に向けた力強い挨拶、昨年続く Jorge Toledo 駐日スペイン大使のユーモアあふれるスピーチ(栗山先生の通訳)、名古屋スペイン協会・神戸日西協会からの来賓挨拶、役員紹介、西語圏から来た神奈川大学の留学生男女と協会語学講座講師らの自己紹介が終わると、盛りだくさんな余興になりました。ボーカル/ギター/カホン(ペルー発祥の箱椅子型打楽器)の黒服3人による音楽、桜田さんのピアノ伴奏で桜合唱団+飛入り参加が歌った「ドラえもん/ハイジ」の明るいコーラス、恒例の全員参加吹き矢競争、高木洋子さんのピアノ独奏に加え、音楽があると体が動き出すスペイン流が乗り移ったのか、自発的ソーシャルダンス、腰振りダンス、両手を前の人の肩に乗せて皆で行進する東京音頭的フォークダンスを楽しむ人も現れて、それはにぎやかなものです。4階の広い窓から晴天の港の景色を見ながら、おいしい料理と酒を楽しめば大いに話も弾みます。飲み放題なので心配は無用ですが、全体の酒量はかなり多かったのではないのでしょうか。私の初参加の2011年や大雪で早仕舞した2012年の頃、波止場会館で30-40人が女性軍手作りの料理を楽しむこじんまりした会だったことを思えば、70人もが集まる今回とは隔世の感があります。スタッフの皆さん、ありがとうございました。(佐竹信一)



2020年度前期スペイン語教室

前期講座開始日：2020年4月6日

今年創立30周年を迎えた横浜スペイン協会が運営する歴史のあるスペイン語教室です。当協会のスペイン語教室はスペイン語の習得だけでなく、スペインの文化にも幅広い知識や理解を深めることを目指しています。

1) お知らせ

- ・前期は4月、後期は10月に開講しますが、入会は随時できます。
- ・最初に見学を希望される方は、3教室、3回まで無料で見学ができます。
定員15名を超えた場合は、別のクラスに誘導させていただく場合があります。
- ・入門、初級クラスは日本人講師の指導でしっかり基礎を学び、中級以上は本場スペイン語ネイティブ講師が指導します。
- ・初めてスペイン語を習う方を対象に、5月から新しい入門クラス「フレシア」を開講します(4月30日 無料見学日)。
- ・受講申込み及び受講費等の詳細については、後述3)「受講申込み及び受講費」をご覧ください。
- ・「新聞・雑誌をスペイン語で読むクラス」は各期に1回、外部から講師を招き特別講義を実施します。

2) 実施中のスペイン語教室

2-1) 横浜駅西口教室

クラス名	レベル	項目	講座内容
1 フレシア	入門	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1.2.3 木曜日 10:30~12:00 中園 竜之介先生 「はじめてのスペイン語」ナツメ社 5月開講の新しいクラスです。初めてスペイン語を始める方やもう一度基礎からやり直したい方向けのクラスです。簡単な日常会話程度を目指します。 ¥1,500/回
2 リリオ	初級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1.2.3 木曜日 13:00~14:30 中園 竜之介先生 「文法から学べるスペイン語」 挨拶や簡単な日常会話ができる程度の文法の基礎を学んだ方を対象に、より豊かな表現で意思疎通を図れるようになることが目標です。 ¥1,500/回
3 アサレア	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1.2.3 水曜日 10:30~12:00 栗山由美子先生 Plaza Amigos Español para hablar III 直説法の復習を通して基礎知識の充実を図ります。 ¥1,500/回
4 セレン	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1.2.3 木曜日 10:30~12:00 山田るりこ先生 現在形を中心としたオリジナルテキスト 講師オリジナル編集の会話テキスト「サヨナラ、棒読みスペイン語！」で会話の基礎を固めます。 ¥1,500/回
5 ハスミン	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3月曜日 13:00~14:30 山田るりこ先生 「Entre Amigos 2」 毎週シンプルな作文でアウトプット練習と文法の復習を行い、スペイン語会話に繋げて行きます。テキスト「Entre Amigos 2」が終わり次第、講師オリジナル編集の会話テキスト「サヨナラ、棒読みスペイン語！」をベースにした会話練習に入ります。 ¥1,500/回
6 アマポーラ	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3月曜日 10:30~12:00 山田るりこ先生 1.講師作成のオリジナルテキスト 2.短編小説 Lola Lagoシリーズ「Eres tú María」 冠詞の用法と接続法をオリジナルテキストで学習します。 また短編小説の読解を通じて単語力・表現力をつけていきます。 これらを交互に進めていきます。 ¥1,500/回

7	カメラア	中級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3月曜日 13:00～14:30 ビクトル先生(Prof.Victor Pérez バルセローナ出身) 第1、第2月曜日は「Español en Marcha4」 第3月曜日はフランシスコ・ガルシア・パボンの「El Carnaval」を読みます。 テキスト、物語は一回の授業で1～2ページとゆっくり進みます。 毎回交代で簡単に自分の出来事などをスペイン語で話します。 授業はスペイン語で行われます。 ¥1,500/回
8	クラベル	中級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3 水曜日 13:00～14:30 フランシスコ先生(Prof. Francisco J. Garzón Bravo グラナダ出身) 「Nuevo Español en Marcha 3 B1」、物語読本「El Libros sin Autor」 基本的なスペイン語の文法を一通り終了しもう一段階上のスペイン語を目指すクラスです。 第1、第2水曜日:「Nuevo Español en Marcha 3 B1」及び練習問題のプリント 第3水曜日:近況をスペイン語で発表した後、スペイン語の物語を購読。 授業はスペイン語で行われます。 ¥1,500/回
9	ビオレタ	中・上級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3 水曜日 10:30～12:00 アドリアーナ先生(Prof. Adriana Casanova アルゼンチン出身) 「El mundo en español B」 HABLA CON ENE社 現在のスペイン及び中南米について学びます。 会話中心の授業を展開しながら、芸術・文学・歴史・社会・伝統・習慣などを幅広く学びます。 授業はスペイン語で行われます。 ¥1,500/回
10	ヒラソル	中・上級	授業日 講師 講座内容 受講料	第1・2・3 水曜日 10:30～12:00 フランシスコ先生(Prof.Francisco J. Garzón Bravo グラナダ出身) 第1水曜日「Alatriste」(1人の男の冒険・歴史ロマン)の映画鑑賞と台本購読 第2,3水曜日Concha López Narvaálezの「La tierra del sol y la luna」を購読 授業はスペイン語で行われます。 ¥1,500/回
11	チャルラ	上級	授業日 講師 講座内容 受講料	第4月曜日 10:30～12:00 (開講日は次ページ「教室一覧表」をご覧ください) ビクトル先生(Prof.Victor Pérez カメリアクラス講師) スペイン語の新聞・雑誌等から政治、経済、社会、文化、その他の記事を取り上げ、それに関するディスカッションを通じてスペイン語力の向上を図ることを目標にします。 ¥1,500/回

2-2) 横浜海岸通り教室

波止場会館 教室所在地: 横浜市中区海岸通り1-1				
	クラス名	レベル	項目	講座内容
12	新聞、雑誌を読むクラス	上級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第4土曜日 10:15～11:45 栗山由美子先生 スペインの新聞・"El País"の記事を使用。 スペイン語の新聞・雑誌等を中心にしてスペインから見た世界の情勢を勉強します。 (討論は日本語で行われます。) 記事の内容を理解するには上級程度の語学知識が必要です。 ¥2,000/回(テキスト代その他を含む)

3) 受講申込み受講費他

- ① 各教室定員は、原則として15名。空席のある場合は会員優先で随時入会可。 **入会金不要**
- ② 受講料:各教室 ¥1,500/ 回 半期分前納(前期15回、後期18回)。
・横浜スペイン協会員以外の方は別途事務費2,000円(各期ごと)が必要です(協会員は無料)。
・「新聞雑誌をスペイン語で読む」クラスは毎月新たな資料が必要なため受講料が異なります(2-2参照)
- ③ 使用言語: 外国人講師は日本語も堪能ですが、教室では生きたスペイン語が中心です。

・お問い合わせ、お申し込み先: 下記のメールアドレスにご連絡をお願い致します。

E-mailアドレス: spanish_class@yokohama-spain.jp
(spanishとclassの間にアンダーバーが入ります)

●スペイン語クラス

新聞・雑誌をスペイン語で読むクラス(栗山講師担当)特別講義

2020. 1. 25 波止場会館

〈 En la Corte del Mikado 〉

Alberto Millan 慶応大学講師

慶応大学より、Alberto Millán 先生にお越し頂き “En la Corte del Mikado” という明治時代(1868年～1912年)に外交官として来日した(横浜に居住)スペイン人 Francisco de Reynoso についてお話頂きました。Reynoso は、1882年に来日し14か月滞在し1904年にこの著書を刊行しました。19世紀末の日本の歴史、政治、文化、習慣をととても正確に豊かな情報源の下で描きそこには現代にもつながる見方、共通点があるようです。いみじくも当時世界各地で開催された万博の影響で日本への関心も高まっておりこの著書はとても売れたようです。この当時の日本とスペインの共通点(近代化が遅れたこと)そして明治初期はフィリピン統治を巡って両国はライバルだった、スペインは日本がフィリピンに覇権を及ぼすのではと危惧していた。スペインは、短期間にととても発展した国だと日本を賞賛する一方でとても恐ろしい国として日本を見ていた事が私には一番印象に残りました。ちなみにスペインは1898年に米西戦争でフィリピンを失います。このReynosoの著書は、500ページ位で全編スペイン語ですが復刻本としてAmazonで購入出来るそうです。とても面白いようです。皆さん、ご興味おありでしたら読んでみてください。 (伊久美智子)



〈2020年前期スペイン語教室のご案内〉

2020年前期のスペイン語教室は、4月30日開講予定の「初めてのスペイン語・入門クラス」フレンチクラスを加え全12クラスでスタートします。昨年後期は、この原稿を書いている時点で3月は全て休講というやむを得ない事態を迎えましたが、本通信がお手元に届く頃には世の中が少しは落ち着いていることを願うだけです。尚、7、8月には東京オリンピックが行われることから、例年行っている「夏期スペイン語文化講座」はお休みとさせていただきます。また、吉田彩子先生の特別講座、模範小説集を読むクラスは新型コロナウイルス感染禍のため、2月3月は休講といたしました。再開については改めてお知らせいたします。

●スペイン・サロン

3月14日に予定していましたスペイン・サロン講演会は、新型コロナウイルス感染拡大を受け中止となりました。講師の鈴木氏はマドリード在住で来日もかないませんでした。鈴木氏の著書については会員の活動報告に詳細を載せました。ご参照ください。

*次回スペイン・サロンのお知らせ

横浜スペイン協会 創立30周年記念講演会

「アンドゥーハル Andújar の聖母 —近世スペインにおけるムスリム王族の改宗」

講師：元流通経済大学教授 関 哲行 氏

日時：2020年6月13日(土) 13:00～15:00

場所：かながわ県民センター 304号室

参加費：1000円

お申し込み&お問合わせ：Spain_salon@yokohama-spain.jp 担当者：服部 平本

●スペインサークル

《旅でスペインを識ろう会》

*「暮らすような旅」に憧れて（平本紀子さん）

2020. 2. 10 かながわ県民センター

約1ヶ月に渡る、バレンシア～マドリードの旅のお話を伺いました。旅のテーマは「初めての一人旅」「初めてのホームステイ」「初めての留学」。と初めてづくし。ご本人は60ウンオの手習いと謙遜されていましたが（笑）、お一人でぐるぐると精力的に動かれ、そのバイタリティとチャレンジ精神には感服です。バレンシアでのホームステイではスペインの家庭の生の姿を体験し特にスペイン家族の強い絆を感じ、また野菜中心のヘルシーな食事とその思いやりが身に染みたことでしょう。バレンシアでは語学学校（エスパニョールインターナショナルハウス）に4週間通い、語学だけではなく、パエリア作りやワインとチーズの試食会など楽しいイベントを通じてスイスやオランダ、ドイツのイケ面男性と知り合ったと楽しい様子を披露されました。学校は洗練された建物で、内部のインテリアが素敵なこと、また教室が日本の作りと全く違いコミュニケーションを取りやすいオープンな作りになっていることに感心しました。これならリラックスして勉強が進むと思います。旅の終わりの締めテーマは「マリア様と邸宅美術館巡り」。マドリードで修道院や旧貴族の館が現在美術館として公開されているところを廻り、お薦めは「セラルボ侯爵邸の美術館」で、当時の所有者の趣味・嗜好が色濃く表現された内装・壁画・床・家具調度品を間近に見ることができ、貴重な体験だと思いました。ありがとうございます。（星野 伸行）※写真はValènciaの語学学校



《CLUB2020》

「オリンピックに向けての取り組み」

東京オリンピックまでカウントダウンが始まりました。昨年に引き続き、5月頃から逗子市にはスペインのセーリングチームが滞在予定です。活躍の場は江ノ島のワールドカップシリーズから（6月14日か21日）。それに先駆け、応援ムードを盛り上げるべく、2月8日にスペインまつり Feria Zushi が開催されました。

逗子市のボランティア「市民応援団」が中心となり、フラメンコ、写真展、屋台、講演会などを企画。私もボランティアの一員として講演を担当、「はじめてのスペイン～どこ行く？なに観る？なに食べる？～」のお題で、200枚の写真を使い、初心者向けの6泊8日・黄金ルート（バルセロナ、バレンシア、グラナダ、フリヒリアナ、セビージャ、コルドバ、ラ・マンチャ、トレド、マドリード）の紹介に、各地の祭りの話もちりばめました。当日の参加者は70名、立ち見が出たほどでした。参加者の半数はスペイン経験者でしたが、アンケートの結果は概ね好評。初めてのスペインに行ってみたくなった方もたくさんいらしたようです。そして我々が横浜スペイン協会のサークル CLUB2020 の近況を少し。横浜の都市ボランティアに決まった4名は順調に研修中、そして普段の活動では横浜の観光案内リーフレットを作成中です。サークルが発足した当初は現在形を学習中のメンバーが半数、会話なんてまだまだ先といった状況でしたが、各自の努力の結果、スペイン語力は目覚ましい伸びを見せています。CLUB2020 でちょっと難しいことをしているので、普段のクラスが易しく感じられるようになったとかならないとか…。ご興味のある方は今からでもご参加ください。（CLUB2020 講師 山田るりこ）※写真は逗子文化プラザ市民交流センターでの講演の様子



●シネマサロン

「だれもが愛しいチャンピオン」 監督 Javier Fesser、2018年スペイン

知的障がい者たちのバスケットボールチーム・「AMIGOS」を指導することになったマルコ。彼は激しい言動からプロチームのコーチを解雇され、さらに飲酒運転で9か月の免停となり社会奉仕を命じられたのだった。メンバーたちは自由に活発、天真爛漫で鋭いユーモアがあり、お互いを認め合う優しさも持っていた。マルコにも本音で反論するが、だんだんと解り合えるようになり練習にも熱が入る。近隣への試合には路線バスで行くが、あまりの騒々しさに輦轡を買い、その後はレンタカーで。全国大会へと進み、決勝戦の地はカナリア。飛行機代を工面したのはマルコの別居中の妻。彼の行動を見ていて仲直りしたいと思うようになっていた。対戦相手は「ENANOS」、だが大きな体のメンバーばかりだったが、頑張っただけで僅差の2位となり、達成感は大きく皆大喜びする。9か月の刑が終わる。マルコの指導ぶりをこっそり見に来ていた以前のプロチーム監督から戻って来いと声がかかる。何よりも主役はメンバーたち。それぞれが障がいと向き合いながら明るくおおらか、特にマルコを励まして送り出すシーンは感動的だった。(松本益代)



●スペイン文学余話 (9)

ブラスコ・イバニェス『黙示録の四騎士』: ファシズム前夜のヨーロッパ

1914年のパリ、主人公フリオが贖罪礼拝堂の庭園でマルグリットと待ち合わせる場所から物語は始まる。フリオの父マルセル・デノワイエは普仏戦争に突入した帝政を嫌ってアルゼンチンに渡りスペイン移民の農場で働いた。成功した農場主には二人の娘があり、長女はマルセルと、次女はドイツ人と結婚した。二つの家族は農場主の莫大な財産を相続し、それぞれに夫の故国で遺産を背景に社会的な尊敬を得てゆく。マルセルは美術品を買い漁り、パリ近郊のワインセラー付き古城まで買いこんでブルジョワ生活を謳歌し、フリオの妹は上院議員の息子と恋仲である。親に生活費を無心しながら放縦な女性関係に溺れる画家志望のフリオは、人妻マルグリットと運命な恋に落ちた。一度は国を捨てた家長マルセルと、スペイン人の血を引くアルゼンチン育ちの妻子。フランス人としてのアイデンティティは希薄なはずのデノワイエ家の人々が、第一次世界大戦の勃発を契機に戦意高揚と愛国主義の波に飲み込まれていく姿が克明に描かれている。共和主義者のビセンテ・ブラスコ・イバニェス Vicente Blasco Ibáñez (1867-1928) は政界を退いたのち、アルゼンチンで入植事業に失敗して財産の大半を失った。文筆業での再起を期してパリに居を構えたのは大戦直前の1914年7月であるが、ドイツの客船でブエノスアイレスからフランスに向かう途中で作家は戦争が近いことを知った。その様子は作品冒頭、父の資産を管理するためアルゼンチンに戻ったフリオの体験として書かれている。『血と砂 Sangre y arena』(1908)ですでに国際的な名声を得ていたブラスコ・イバニェスは、フランス大統領ポアンカレから、戦争の大義がフランス(連合国)側にあることを訴える小説を書くように要請を受け、『黙示録の四騎士 Los cuatro jinetes del Apocalipsis』(1916)を発表した。1921年ヴァレンチノ主演で無声映画化され、同年に邦訳も出版された。大戦の処理をめぐる大衆の不満と世界恐慌がファシズムを生み出すことになる。小説に描かれるファシズム台頭の前夜は、格差によって分断され、新型コロナウイルスによる経済不安に脅える今日の社会状況と不気味に重なって見える。(吉田彩子)

《横浜スペイン協会 設立 30 周年記念事業》

🌸 さくら植樹 ロンダ市友好親善ミッション中止、延期について

年が明けてから、新型コロナウイルスは世界的な感染拡大が急速に進み、アジアのみならず欧米にも広がり、ついに訪問先のロンダ市においてもウイルス感染者が出現致しました。これを受けて、ロンダ市のマリア・デ・ラ・パス市長より今回の友好親善交流イベントは中止、延期せざるを得ないとの正式な要請が発令された為、大変、残念ではありますが中止、延期の決定を致しました。既に苗木は準備され記念プレートも出来上がっているため、現地サイドで植樹は行い、後日、植樹された場所を訪問し記念セレモニーと文化交流を行う事とします。再開の日程については、状況が落ち着いてから現地と調整して決めて行く予定です。ご理解のほど、よろしくお願い致します。（会長・下山利明）

🌸 「私たちのスペイン展」展示作品を募集

横浜スペイン協会では創立 30 周年を記念して「私たちのスペイン展」を下記要項にて開催します。つきましては会員の皆様から展示する作品を募集させていただきます。絵画や写真・クラフト・刺繍・折り紙などでスペインに関連した作品なら何でも結構です。皆様のご参加お待ちしております。詳しくは同封の作品募集のチラシをご参照ください。

会場：かながわ県民センター展示場

開催期間 9/28（月）～10/1（木）

主な展示予定作品～・応募作品・協会の歩み・活動紹介（サロン、旅の会、クラス紹介等）

● 会員の活動報告

* 新刊紹介

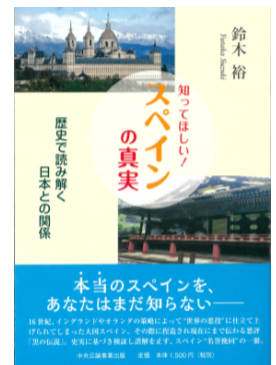
「知ってほしい！スペインの真実」 ～ 歴史で読み解く日本との関係

著者：マドリード在住スペイン研究家 鈴木裕氏

16 世紀、イングランドやオランダの策略によって“世界の悪役”に仕立てあげられてしまった大国スペイン。その際に捏造され現在にまで伝わる悪評「黒の伝説」。史実に基づき検証し誤解を正す、スペイン“名誉挽回”の一冊！

出版社 中央公論事業出版

定価 本体 1500 円（税別）



* 横浜スペイン協会後援のコンサート等

「スペイン音楽の神髄」 ピアノとギターの名手を迎えて with 高木洋子

ハビエル・ガルシア・モレーノ（ギタリスト）ホセ・マヌエル・クエンカ（ピアニスト）

日時：2020 年 7 月 5 日（日）（2020 年 3 月 21 日の公演が左記に変更になりました）

開場：13:30

開演：14:00（15:45 頃終演）

場所：横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場

入場料：3500 円（協会会員は事前連絡で割引の適応あります）

お問合わせ：プリマベラ 050-3051-4645 /WEB 予約 <http://primaverajapan.fc2web.com>

***** 協会からのお知らせ *****

2020年度定時総会のご案内

日時：2020年5月30日（土）13：30～（15：00 終了予定）

会場：かながわ県民センター 604号室

※同封葉書にて出欠のご返信をお願いします。

🌸 スペイン大使館の横浜緋桜、満開！ 🌸



スペイン大使館職員の中尾憲枝さんが、Jorge Toledo 駐日大使と歴代の駐西日本大使の皆さまを満開の桜の下で写真に収め送っていただきました。ソメイヨシノとは色味の異なるこの桜は、15年前に横浜スペイン協会が創立15周年記念に植樹させていただいた「横浜緋桜」です。15年間で大きく育ち、その立派な姿は大使公邸の前庭で賓客をお迎えするお役目を果たしています。大切に手入れをしていただき感謝ですね。本年は創立30周年の記念として横浜緋桜を3本植樹いたしました。その様子は次号のAIYES通信・30周年記念号でご報告いたします。

～・～・～ 新会員紹介 ～・～・～

江口 朝子 (Eguchi Tomoko) 横浜市青葉区在住 2020年1月入会
スペインに関することに興味があるから。旅の会のお話がとても面白かったから。

原澤 由紀 (Harasawa Yuki) 横浜市緑区在住 2020年1月入会
スペイン語だけでなく、歴史などスペインについてもっと学びたいと思いました。

<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア1杯無料

《編集後記》新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小中高校の一斉休校やテレワークの推奨、イベントの中止や延期、などなど相次いでいます。筆者も自宅にこもる時間が長くなって普段と違う生活リズムに慣れない様な…変なストレス感じてます。ぽっかり空いた時間にパソコンの前に座って、観そびれたドラマや映画を動画配信サービスで探しながら、タイトルをスクロールしているうちに気づいたのですが、シネマサロンで紹介されていた映画がたくさんあります。スペイン語のヒアリングにもお勧めです。(A.S)

編集長/下山綾子 編集委員/ 岩田岳久 白井慎一 古賀恵子 下山利明 武菱邦夫 服部君江 平本紀子 福長昭代 松村清

投稿寄稿宛先

E-mail

全般：info@yokohama-spain.jp

スペイン語教室：spanish_class@yokohama-spain.jp

スペイン・サロン：spain_salon@yokohama-spain.jp

ホームページ：http://www.yokohama-spain.jp

横浜スペイン協会

今回の原稿締切は

6月10日(水)です